

---

# H20 鹿児島県 公立 数学 問題

---

数-08-公-鹿児島-問-01

1 次の問1～問5に答えなさい。

問1 次の(1)～(5)の計算をせよ。

(1)  $(78 - 6) \div 9$

(2)  $\frac{2}{5} + \frac{1}{4} \div \frac{5}{6}$

(3)  $3(7a + 6) - 4(5 - 8a)$

(4)  $x^3y \times (-3y)^2 \div x^2y$

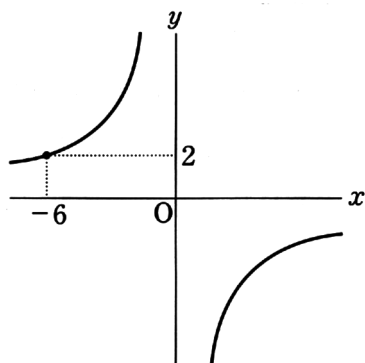
(5)  $\frac{9\sqrt{6}}{2} - \sqrt{\frac{3}{2}}$

問2 180本のくじのうち、当たりくじが全体の15%であるとき、当たりくじは何本か。

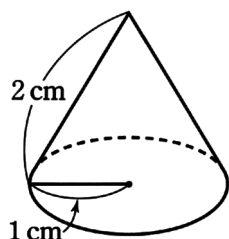
問3 下の表のア～オに数をあてはめて、縦、横、ななめ、それぞれの3つの数の和が等しくようにしたい。アにあてはまる数を求めよ。

ア	イ	1
ウ	エ	オ
3	-4	7

問4 下の図は、 $y$ が $x$ に反比例しているグラフである。 $y$ を $x$ の式で表せ。



問 5 下の図は、底面の円の半径が  $1\text{ cm}$ 、母線の長さが  $2\text{ cm}$  の円すいである。この円すいの側面積は何  $\text{cm}^2$  か。ただし、円周率は  $\pi$  とする。



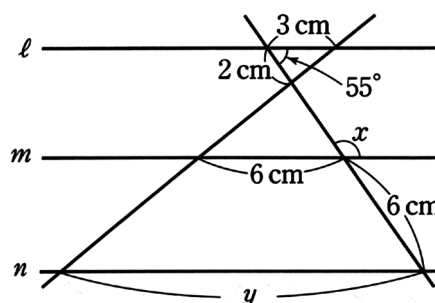
数-08-公-鹿児島-問-02

2 次の問 1 ～ 問 4 に答えなさい。

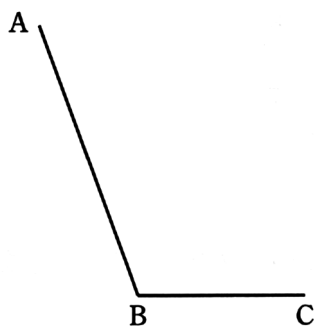
問 1 下の図で、直線  $\ell$ 、 $m$ 、 $n$  がいずれも平行であるとき、次の (1)、(2) の問いに答えよ。

(1)  $x$  の大きさは何度か。

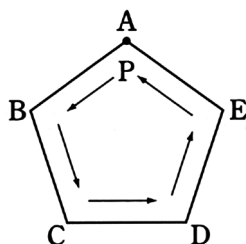
(2)  $y$  の長さは何  $\text{cm}$  か。



問 2 下の図のように、線分  $AB$ 、 $BC$  がある。  $\angle ABC$  の二等分線上の点で、2 点  $A$ 、 $B$  から等しい距離にある点  $P$  を作図せよ。ただし、作図には定規とコンパスを使い、作図に用いた線も残しておくこと。



- 問3 下の図の正五角形 ABCDE において、頂点を移動する点 P は、最初に頂点 A にある。点 P は、大小 2 つのさいころを同時に 1 回投げ、出た目の数の和だけ矢印( )の方向に順に移動する。たとえば、出た目の数の和が 6 のとき、点 P は頂点 B で止まる。点 P が頂点 D で止まる確率を求めよ。



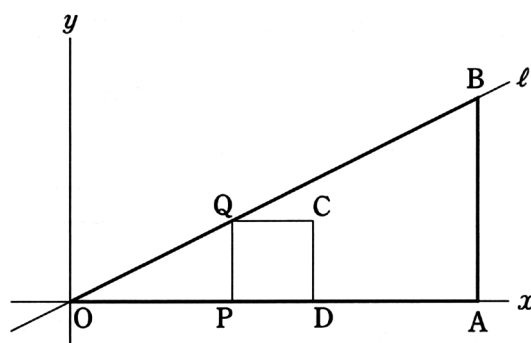
- 問4  $x, y$  についての連立方程式  $\begin{cases} ax + by = -11 \\ bx - ay = 13 \end{cases}$  の解が  $x = 3, y = -1$  であるとき、 $a, b$  の値を求めよ。

式と計算過程も書くこと。

数-08-公-鹿児島-問-03

- 3 下の図は、関数  $y = \frac{1}{2}x$  のグラフである直線  $\ell$  と、 $x$  軸上の点 A (12, 0) から  $y$  軸に平行な直線をひき、直線  $\ell$  との交点を B とし、原点 O、点 A、点 B を結んで OAB をつくったものである。点 P は、原点 O を出発して、毎秒 1 cm の速さで辺 OA 上を点 A まで動く。点 P から  $y$  軸に平行な直線をひき、直線  $\ell$  との交点を Q とし、線分 PQ を 1 辺とする正方形 PQCD をつくる。
- ただし、点 D、C の  $x$  座標は、点 P、Q の  $x$  座標よりそれぞれ大きいものとする。このとき、次の問 1 ~ 問 4 に答えなさい。なお、座標の 1 目もりは 1 cm とする。

- 問1 直線  $\ell$  上の点で、原点 O 以外の点を 1 つ選び、その座標を書け。

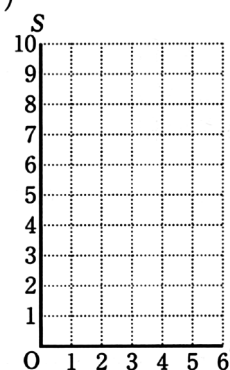


- 問2 点 P が原点 O を出発して、 $t$  秒後の正方形 PQCD の面積を  $S \text{ cm}^2$  とする。 $S$  を  $t$  の式で表せ。また、 $t$  の変域が  $0 \leq t \leq 6$  のとき、 $t$  と  $S$  の関係を表すグラフをかけ。ただし、 $t = 0$  のとき、 $S = 0$  とする。

(式)

$S =$

(グラフ)



問3 点Dが点Aに重なったとき，正方形 PQCD の面積は何  $\text{cm}^2$  か。

問4 点Dの  $x$  座標が，点Aの  $x$  座標より大きくなり，正方形 PQCD と OAB の重なった部分の面積が  $\frac{27}{2} \text{cm}^2$  になるのは，点Pが原点Oを出発してから何秒後か。点Pが原点Oを出発してから  $p$  秒後のこととして， $p$  の値を求めよ。 $p$  についての方程式と計算過程も書くこと。

数-08-公-鹿児島-問-04

- 4 1 辺の長さが 1 cm の正方形のシールをたくさん用意した。下の図のように左端をそろえながら，1 番目は上から 1 段目に 1 枚，2 段目に 3 枚，2 番目は上から 1 段目に 1 枚，2 段目に 3 枚，3 段目に 5 枚，3 番目は上から 1 段目に 1 枚，2 段目に 3 枚，3 段目に 5 枚，4 段目に 7 枚とすき間なくはり，同じ規則で，4 番目，5 番目，... と図形をつくっていく。図はそれぞれの図形において，周の辺を太い線（ ）で，隣り合うシールの共通の辺を細い線（——）で表したものであり，表 1 は太い線の長さの和について，表 2 は細い線の長さの和についてまとめたものである。
- このとき，次の問 1～問 4 に答えなさい。

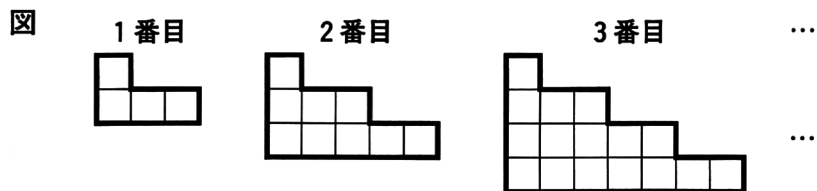


表 1 太い線（ ）の長さの和 (cm)

	1 番目	2 番目	3 番目	...
縦の太い線の長さの和	4	6	8	...
横の太い線の長さの和	6	10	ア	...

表 2 細い線（——）の長さの和 (cm)

	1 番目	2 番目	3 番目	...
縦の細い線の長さの和	2	6	12	...
横の細い線の長さの和	1	4	9	...

問 1 表 1 において，アにあてはまる数を書け。

問 2  $n$  番目の図形において，縦の太い線の長さの和は何 cm か。 $n$  を用いて表せ。

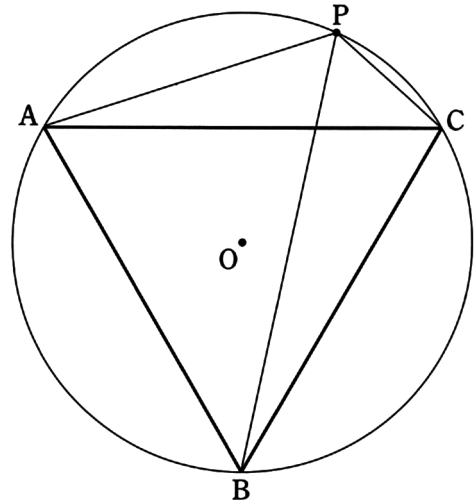
問 3 4 番目の図形において，縦の細い線の長さの和は何 cm か。

問 4 横の細い線の長さの和が 100 cm である図形において，縦の細い線の長さの和は何 cm か。

- 5 下の図は、1 辺の長さが 6 cm の正三角形  $ABC$  と 3 つの頂点  $A, B, C$  を通る円  $O$  において、 $\widehat{AC}$  上の点  $P$  と点  $A, B, C$  をそれぞれ結んだものである。点  $P$  を、点  $B$  を含まない  $\widehat{AC}$  上で、点  $A, C$  を除くいろいろな位置に動かすとき、次の問 1 ～ 問 3 に答えなさい。

問 1  $\angle APB$  の大きさは何度か。

問 2 線分  $BP$  が円の中心  $O$  を通るとき、その長さは何 cm か。



問 3 点  $P$  を  $\angle CBP = 15^\circ$  となる位置に動かした。線分  $BP$  上に  $BQ = CP$  となる点  $Q$  をとり、点  $Q$  と点  $A$  を結ぶ。このとき、次の(1)、(2)の問いに答えよ。

- (1)  $AQ = AP$  であることを証明せよ。
- (2)  $\triangle ABQ$  の面積は何  $\text{cm}^2$  か。

	問題番号	解 答	配点	備 考
数 学 公 鹿 児 島 県 立	1	問 1	(1)	
			(2)	
			(3)	
			(4)	
			(5)	
		問 2	本	
		問 3		
		問 4	$y =$	
		問 5	$\text{cm}^2$	

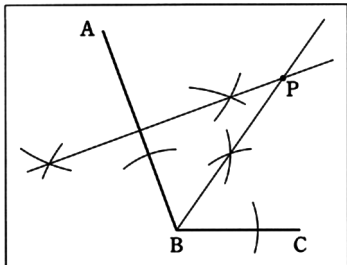


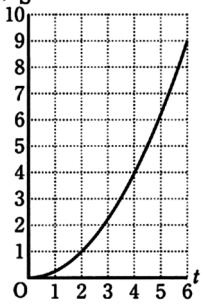




	問題番号		解 答		配点	備 考
数 学 公 鹿 児 島 学 校	4	問 1				
		問 2	cm			
		問 3	cm			
		問 4	cm			
数 学 公 鹿 児 島 学 校	5	問 1	度			
		問 2	cm			
		問 3	(1)	(証明)		
			(2)	cm <sup>2</sup>		

	問題番号		解 答		配点	備 考
数 学 公 立 鹿 児 島 県 高 校	1	問 1	(1)	8	3	
			(2)	$\frac{7}{10}$	3	
			(3)	$53a - 2$	3	
			(4)	$9xy^2$	3	
			(5)	$4\sqrt{6}$	3	
		問 2	27 (本)		3	
		問 3	- 3		3	
		問 4	$(y = ) - \frac{12}{x}$		3	
		問 5	2 (cm <sup>2</sup> )		3	

		問題番号		解 答		配点	備 考	
数 学 公 鹿 児 島 不 2	2	問 1	(1)	125 (度)		3		
			(2)	15 (cm)		3		
		問 2 解答例					4	
		問 3	$\frac{7}{36}$		4			
		問 4	(式と計算) $x = 3, y = -1$ が解であるから $\begin{cases} 3a - b = -11 & \dots\dots \\ a + 3b = 13 & \dots\dots \end{cases}$ $\begin{array}{rcl} \times 3 & 9a - 3b = -33 & \\ +) & a + 3b = 13 & \\ \hline & 10a & = -20 \\ & a & = -2 \quad \dots\dots \end{array}$ を に代入して $\begin{array}{rcl} -6 - b & = & -11 \\ b & = & 5 \end{array}$ 答 (a =) <u>-2</u> , (b =) <u>5</u>		4			

	問題番号	解 答	配点	備 考
数 学 公 鹿 児 島 不 03	問 1	$\left(1, \frac{1}{2}\right)$	3	
	問 2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>(式) <math>(s =) \frac{1}{4}t^2</math></p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(グラフ) <math>s</math></p>  <p style="text-align: right;"><math>t</math></p> </div>	4	
	問 3	16 (cm <sup>2</sup> )	4	
	問 4	<p>(式と計算)</p> <p>重なった部分は長方形であり</p> $PQ = \frac{1}{2}p \text{ (cm)}, PA = 12 - p \text{ (cm)}$ <p>であるから</p> $\frac{1}{2}p(12 - p) = \frac{27}{2}$ $p^2 - 12p + 27 = 0$ $(p - 3)(p - 9) = 0$ $p = 3, p = 9$ <p><math>8 &lt; p &lt; 12</math> より</p> $p = 9$ <p style="text-align: right;">答 (p =) 9</p>	4	

	問題番号		解 答		配点	備 考
数Ⅱ公立鹿児島不登	4	問 1	14		3	
		問 2	$2n + 2$		4	
		問 3	20 (cm)		4	
		問 4	110 (cm)		4	
数Ⅱ公立鹿児島不登	5	問 1	60 (度)		3	
		問 2	$4\sqrt{3}$ (cm)		4	
		問 3	(1)	(証明) ABQ と ACP において 仮定より BQ = CP ..... ABC は正三角形であるから AB = AC ..... 同じ弧に対する円周角は等しいから ABQ = ACP ..... よって 2 辺とその間の角がそれぞれ等しいから ABQ ≌ ACP したがって AQ = AP	4	
			(2)	$9 - 3\sqrt{3}$ (cm <sup>2</sup> )	4	

数-08-公-鹿児島-KS-01

1 問1 (3)  $3(7a+6) - 4(5-8a) = 21a + 18 - 20 + 32a = 53a - 2$

(4)  $x^3y \times (-3y)^2 \div x^2y = x^3y \times 9y^2 \div x^2y = 9xy^2$

(5)  $\frac{9\sqrt{6}}{2} - \sqrt{\frac{3}{2}} = \frac{9\sqrt{6}}{2} - \frac{\sqrt{3} \times \sqrt{2}}{2} = \frac{9\sqrt{6}}{2} - \frac{\sqrt{6}}{2} = 4\sqrt{6}$

問2 当たりくじは全体のくじ 180 本の 15%だから, その本数は,  $180 \times 0.15 = 27$  (本)

問4 反比例の関係より, 式を  $y = \frac{a}{x}$  とおく。点  $(-6, 2)$  を通るから,  $x = -6, y = 2$  を代入して,

$$2 = -\frac{a}{6} \quad a = -12 \quad \text{よって, } y = -\frac{12}{x}$$

問5 展開図において側面のおうぎ形の面積は,  $\frac{1}{2} \times (\text{おうぎ形の半径}) \times (\text{弧の長さ})$  で, 弧の長さは底面の円周の長さに等しいから, 側面積は,  $\frac{1}{2} \times 2 \times 2 \times 1 = 2$  (cm<sup>2</sup>)

数-08-公-鹿児島-KS-02

2 問1 (1)  $\ell \parallel m$  より, 同位角は等しいので,  $180^\circ - x = 55^\circ \quad x = 125^\circ$

問3 2つのさいころの目の組み合わせは, 全部で,  $6 \times 6 = 36$  (通り) そのうち, 点 P が頂点 D で止まるのはさいころの目の和が 3 か 8 のとき。さいころの目の組み合わせを(大, 小)とすると, 和が 3 になるのは,  $(1, 2), (2, 1)$  の 2 通り。和が 8 になるのは,  $(2, 6), (3, 5), (4, 4), (5, 3), (6, 2)$  の 5 通り。よって, 頂点 D で止まるのは,  $2 + 5 = 7$  (通り) 求める確率は,  $\frac{7}{36}$

数-08-公-鹿児島-KS-03

3 問2  $t$  秒後の  $OP = 1 \times t = t$  よって, 点 Q の  $x$  座標は  $t$  点 Q は  $y = \frac{1}{2}x$  上の点より,  $x = t$  を代入して,  $y = \frac{1}{2}t$  よって,  $Q\left(t, \frac{1}{2}t\right)$  したがって,  $PQ = \frac{1}{2}t$  ここで, 四角形 PQCD は正方形だから, その面積  $S = PQ^2 = \left(\frac{1}{2}t\right)^2 = \frac{1}{4}t^2 \quad 0 \leq t \leq 6$  より, 変域に注意してグラフをかく。

問3  $t$  秒後に点 D が点 A と重なるとする。  $OP = t, PA = PQ = \frac{1}{2}t$  より,  $OA = t + \frac{1}{2}t = \frac{3}{2}t$  と表せる。  $A(12, 0)$  より,  $OA = 12$  だから,  $\frac{3}{2}t = 12 \quad t = 8$  よって, そのとき,  $PA = \frac{1}{2} \times 8 = 4$  正方形 PQCD の面積は,  $4^2 = 16$  (cm<sup>2</sup>)

数-08-公-鹿児島-KS-04

4 問2 縦の太い線の長さの和は左端の縦の長さの 2 倍になっている。  $n$  番目の図において, 左端の縦の長さは,  $n+1$  (cm) と表せるので, 縦の太い線の長さの和は,  $2(n+1) = 2n+2$  (cm)

問3  $n$  番目の図形 2 つを, 階段状の部分でくっつけて縦が  $n+1$ , 横が  $2n+2$  の長方形にする。縦の細い線は, 長方形の内側にあるたての線  $(n+1) \times (2n+1)$  (cm) から, 太い線  $(n+1)$  cm を除き, 2 でわったものだから,  $\{(n+1) \times (2n+1) - (n+1)\} \div 2 = n^2 + n$  (cm) これに,  $n = 4$  を代入して,  $4^2 + 4 = 20$  (cm)

問4  $n$  番目の横の細い線の長さの和は,  $\{(2n+2) \times n - 2n\} \div 2 = n^2$  (cm) と表せる。よって,  $n^2 = 100$   $n > 0$  より,  $n = 10$  (番目) よって, 10 番目の縦の細い線の長さの和は,  $10^2 + 10 = 110$  (cm)

数-08-公-鹿児島-KS-05

5 問2 BP が円の中心 O を通るとき, 円周角の定理より,  $\angle BAP = 90^\circ \quad \angle APB = 60^\circ$  だから,  $BP : AB = 2 : \sqrt{3} \quad AB = 6$  より,  $BP : 6 = 2 : \sqrt{3} \quad \sqrt{3} BP = 12 \quad BP = \frac{12}{\sqrt{3}} = 4\sqrt{3}$  (cm)

問3 (2) A から BP に垂線 AH をひく。  $\angle ABH = 60^\circ - 15^\circ = 45^\circ$  より,  $\triangle ABH$  は  $HA = HB$  の直角二等辺三角形である。  $AB = 6$  より,  $HA = HB = \frac{1}{\sqrt{2}} AB = 3\sqrt{2}$  また,  $AP = AQ, \angle APQ = 60^\circ$  より,

$\triangle APQ$  は正三角形である。よって,  $PH = QH = \frac{1}{\sqrt{3}} AQ = \frac{1}{\sqrt{3}} \times 3\sqrt{2} = \sqrt{6}$  したがって,

$$ABQ = \frac{1}{2} \times BQ \times AH = \frac{1}{2} \times (3\sqrt{2} - \sqrt{6}) \times 3\sqrt{2} = 9 - 3\sqrt{3} \text{ (cm}^2\text{)}$$